



SGホールディングス株式会社

Grow the new Story.
新しい世界で、新しい社会を、共に育む。

日本のCO₂排出量のうち、自家用車を含む運輸部門の排出量は約18%^{*}を占め、その影響は大きいと認識しています。運輸部門に含まれる旅客や貨物の輸送は、多くの産業や日常生活に深く関わる機能であり、脱炭素社会の実現に向けて輸送における排出削減は重要です。当社グループは総合物流事業を展開し、多くの貨物自動車を使用しています。物流という社会インフラを担う企業グループとして、脱炭素社会に向けた取り組みは責務であると認識し、世界的な喫緊の課題である地球温暖化防止への対策をこれまで以上に強化すべきであると捉えています。ステークホルダーの皆さまとも協力しながら、サプライチェーン全体での排出削減に取り組みます。

※国土交通省ウェブサイト「運輸部門における二酸化炭素排出」参照、数値は2019年度の実績

SGホールディングスグループ 脱炭素ビジョン

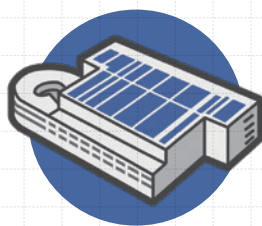
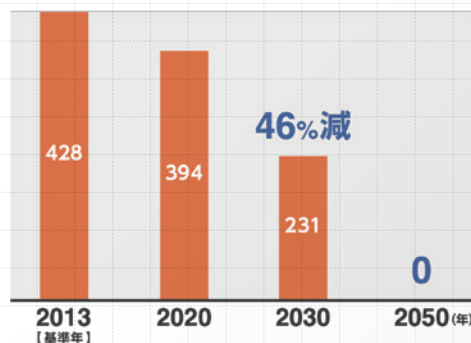
SGホールディングスグループは、ステークホルダーの皆さまとともに、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

- 1 車両から排出される温室効果ガスの削減
- 2 再生可能エネルギー由来の電気の使用推進
- 3 サプライチェーン全体での排出削減

排出削減目標

- 2030年までにCO₂排出量46%減 (2013年度比)
- 2050年までのカーボンニュートラル (いずれもスコープ1・2が対象)

CO₂換算排出量 (千t-CO₂)



脱炭素への主な取り組み

環境対応車の導入

保有車両に占めるEVやハイブリッドトラックなどの環境対応車の割合を、2021年度の59%から、2030年度には98%に。

配送に特化したEVの開発に着手



再生可能エネルギーの活用

全国の保有施設約100ヶ所に太陽光発電設備を設置し、電力会社への電力供給や自家消費を行っています。

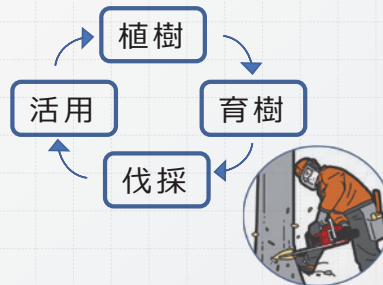
SGリアルティ東大阪



森林保全

高知・徳島両県に7つの山林を所有し、地元森林組合の協力を得ながら管理。植樹から木材活用までを循環させる仕組みづくりを実施しています。

森林サイクル



SGホールディングスは、ユースの環境活動を応援しています。

